

# 静和園だより

第35号

平成29年4月発行

編集発行：障害者支援施設 静和園

〒989-2112 宮城県亘理郡山元町真庭字名生東72-2 TEL (0223) 37-0075

ホームページ <http://miyagi-seiwakai.jp/seiwaen/>

メールアドレス xseiwa@green.ocn.ne.jp

利用者数

男 41名

女 6名

計 47名

(4月1日現在)

H28.12.28

## もちつき大会



H28.10.12

## 芋煮&スポーツ大会



H29.1.5

## OR☆姫隊慰問



H29.1.27

## 笹本一座慰問



H28.12.9

## 障害者の日 お楽しみ会



H29.2.3

## 豆まき



## ご挨拶



社会福祉法人静和会 会長 北島 宏一

待ち遠しかった春の訪れと共に、静和会各施設・事業も新たな思いで元気に新年度の歩みを始めることが出来感謝いたします。

ご利用者の皆様がより安心して、安全に元気に生活していただけるよう防災、防犯、事故防止、サービスの向上に今年度もより一層の努力をしていきたいと思っております。

さて、去る三月十一日、私たちはあの東日本大震災から六周年という大切な節目を迎えました。

静和会では二月二十六日に、ご遺族、関係機関、法人役職員の皆さま二百名近くのご参列をいただき七回忌法要を営み、併せて新しく建立された慰霊碑に共に赴き祈りを捧げました。

亡くなられたかたがたの無念の思い、消えることのないご遺族の悲しみ、苦しみ、被災された人々のご苦勞は今も変わることはないと思っております。

私たちはそのことを決して忘れず、与えられた多くの教訓を風化させることなく日々祈り続ける場としてこの「鎮魂・伝承・希望の碑」を大切にしていきます。

さて、昨年七月私たちは驚きを隠せない大きな事件が相模原市で起こりました。

静和園と同じ障害者支援施設での元職員による大量殺傷事件です。

「障害者はこの世にいないほうがいい…」これは犯人のことばです。障害者・弱者切り捨て論を振りかざす言動に胸が痛みます。

私たちは日々社会的弱者といわれるかたがたのお世話をさせていただいています。

そこで人の弱さを担うことの大切さ命の尊さを日々実感しています。これからも、仕事の原点を常にそこに置き、より安全な施設運営に努力していきたいと思っております。

一層のご支援、ご指導をお願いいたします。

## 新年度のご挨拶



園長 阿部 興紀

今年度は春先に雪が少なく、穏やかに春を迎え新年度がスタートしました。

今年度の事業計画には防犯体制の強化等の環境整備を織り込みました。また久方ぶりに新卒職員三名も加わり利用者の皆様により安全な環境で支援させていただきます。

去る三月十一日で東日本大震災六周年を迎えました。犠牲になられた皆様のご冥福をお祈りすると共に被災された方々にお見舞いを申し上げます。

昨年国内で大きな自然災害・事件が起きました。特に相模原市の障害者支援施設で殺傷事件が起き、元職員により重度な障害をもった方々が十九名も犠牲になりました。犯人は「障害者なんていなくなればいい」と供述をしていると報道されました。極めて、理不尽な考えで無抵抗な方々を襲撃しました。被害者の恐怖を思うとやりきれない気持ちです。

我が国では共生社会を目指し差別解消法が施行され法律は整備されましたがその実現には高いハードルが待ち受けていることを実感しました。

静和園ではこれを契機に防犯カメラの設置等設備面を主体に防犯体制を強化します。勿論、利用者の皆様へのご面会等静和園への来園は今迄通り、いつでも歓迎いたします。

新年度では職員一同、障害者支援の原点に立ち帰り、安全・安心な支援をさせていただきます。関係者、地域の皆様の一層のご指導・お力添えをお願いいたします。

## 静和会七回忌法要

平成二十九年二月二十六日

東日本大震災から六年を迎えるにあたり、静和会七回忌法要を執り行いました。



## 静和会慰霊碑

東日本大震災の津波被害により亡くなられた静和会の利用者様及び職員を偲び、弔う場として静和会慰霊碑を建立致しました。悲しみと教訓を未永く継承し、誰しもが祈りを捧げる事が出来る恒久の場となることを願います。



# 寄付金について

## 大同生命様寄付金



平成二十八年十二月二十二日、大同生命保険株式会社様より静和園にご寄付をいただきました。

創業者の一人である、広岡浅子さんがNHK連続テレビ小説「あさが来た」ヒロインの『あさ』のモデルとなったことでも広く知られておりますが、大同生命様は同社創業九十周年目の節目である平成四年に役職員の皆様による自主的な組織として「大同生命社会貢献の会」を設立し、募金・寄付活動やボランティア活動への参加・支援などに取組まれていらっしゃいます。

今回頂戴した寄付金は施設の防犯対策の一部に使用させていただきます。

## 天皇陛下御下賜金



平成二十八年十二月二十日に宮城県庁知事室にて当法人が運営する「静和園」に天皇陛下より御下賜金が下賜され、村井嘉浩宮城県知事から会長北島宏一に伝達されました。

御下賜金は天皇誕生日に際しまして、社会福祉事業奨励のおぼしめしを持って民間社会福祉事業に関し各都道府県および各政令指定都市より推薦を受けた団体・施設に下賜されます。

当法人および施設はこの榮譽に浴し、職員一同の今後の励みに致します。



## 高台避難訓練



昨年秋、十一月二日に津波避難を想定した、高台避難訓練を行ないました。前回の反省を踏まえ、今回は春と秋に高台避難経路移動練習を行なっていた為、利用者や職員ともにスムーズに出来ました。なんと以前よりも十五分もタイムを縮めました。しかしながら、障害のある方の避難移動は困難な所も多く、周囲の方々の協力も頂けるような、地域に根差した取り組みを今後とも励んでいきたいと思いました。ご協力ありがとうございました。



H29.1.23/1.24/1.30

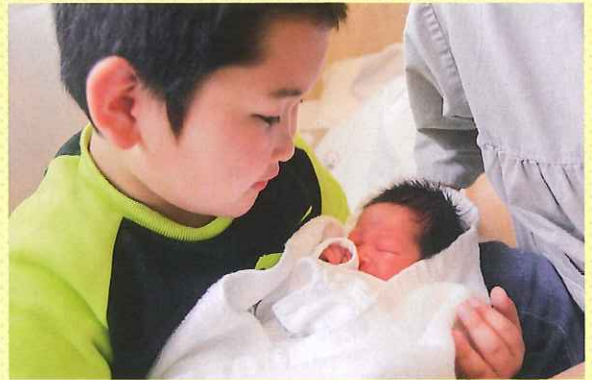
## 竹駒神社参拝



鈴木 弘美 看護師

### 新入職員紹介

十月から静和園で勤務させていただいております。利用者の皆様と関わりながら私も成長していければ良いなと思っています。一生懸命頑張りますのでどうぞ宜しくお願いします。



### 祝ご誕生

(板橋総務課長第2子)

板橋総務課長の第二子が平成二十八年十一月二十三日に生まれました。  
名前は「優杜(ゆうと)くん。二五八八gの男の子です。お兄ちゃんが名前を考えてくれたそうです。



### 利用者入退所

#### 【入所】

佐々木博之様(相馬市)  
(平成二十八年十二月十六日)  
遠藤 純正様(百理町)  
(平成二十八年十二月十九日)

#### 【退所】

角田 武男様  
(平成二十八年十一月七日)  
相原 信洋様  
(平成二十八年十二月一日)  
八島 勉様  
(平成二十九年二月一日)

#### 【お悔やみ】

平成二十八年十二月三十一日、角田武男様をご逝去されました。心よりお悔やみ申し上げます。

### 編集後記

障害者の日のお楽しみ会や竹駒神社への参拝、豆まきなど楽しいイベントが盛りだくさんありました。

梅の花が咲き始め、寒さも少しすつやわらぎ、春が待ち遠しい季節となりました。お花見での外出も楽しみですね。

広報誌編集委員